



多摩美術大学校友会会報

alT

The alumni association of
Tama Art University

1997 Spring

多摩美術大学へようこそ、 そして校友会へ

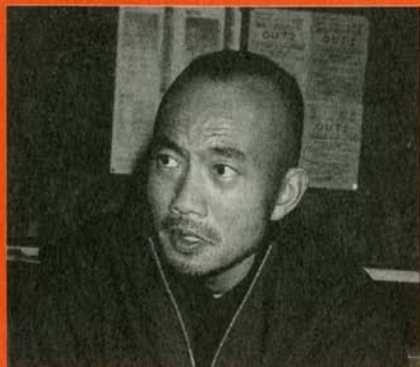
平成7年11月、多摩美術大学創立60周年を機に念願であった多摩美術大学校友会が発足しました。現在、約2万人の卒業生が会員となって運営しています。発足したばかりで全ての内容を充実させることは容易ではありませんが、在校生への奨学金制度を始め、技法書出版、名簿編集、企画展覧会等の一つずつ、実行しています。後に続いて元気に羽ばたいて行く在校生に心強く思ってもらえる存在、幅広く、開けた校友会を目指しています。さあ、準会員の1年生の皆さんもさっそく入会して下さい。そして、私たちの手で大きく発展させ、意味ある組織としましょう。

◎会費予納

- ・準会員である在校生には在学中、30,000円の予納をお願いしています。(分割納入10,000円×3回でも可)
- ・30,000円は卒業後、終身会費とさせていただきます。
- ・会費納入者には卒業時に名簿を1冊無料でさしあげます。
- ・振込は同封の郵便振替用紙をご利用ください。

(必要事項は明記して下さい)

あの人に会いたい ①



竹中直人さん

たけなかなおと(本名)

'56年3月20日生まれ。横浜市出身。

'80年多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。

'80年～'90年まで劇団青年座に在籍。

'83年、テレビ朝日系「テレビ演芸」で優勝デビュー。

以後、「シャルウィングダンス?」「陽炎」「夢の道てまでも」「119」などの映画に出演。

監督、主演を務めた「無能の人」では、ヴェネチア映画祭の国際映画批評家連盟賞を受賞。

'96年、NHK大河ドラマ「勇吉」で主演を務め、その迫真の演技で高い視聴率を上げ話題を呼んだ。

「アート、音楽、演劇などあらゆる表現がよりシビアに評価される今日、私たちは何をしていくべきなのか。」……

多彩な表現力で今話題の大先輩、竹中直人さんが平成8年12月毎年恒例の「竹中直人の会」を下北沢、本多劇場にて上演しました。

以前から竹中さんのお芝居にはかかすことなく足を運んできた岡美里さん(研究生)に竹中さんのお芝居の魅力と楽屋を訪問した感想を伺ってみました。

(次ページへ)

あの人に会いたい

(前ページより)

よく同じ劇団の芝居を追って見に行くと、徐々に勢いがなくなりつまらなくなってしまうことがあるが、竹中さんの主催する「竹中直人の会」に、それはあてはまらない。この「竹中直人の会」は竹中さんが毎年一回、作・演出の岩松了さんと後は毎年変わるゲストという形で演劇を行なっているのだが、そのゲスト達にも、また竹中さんのこだわりが非常によく表れている。そもそも芝居や映画は「脚本の中のこの人物にはこの役者。」というように脚本中心に決められてゆくものであるが、竹中さんはそれをアテ書き(先に特定の役者を決定してからイメージして脚本を書く)という形にしている。その為か、竹中さんに関わる役者さん達は皆、氏の持つ雰囲気……「やさしさ」「不安」「狂気」の色に不思議と染まる。竹中さんは「僕はいいスタッフ、映画監督、役者さん達に恵まれていて、そしていい仕事出来る。本当に幸せだ。」と言う。しかし、それは偶然でも何でもなく竹中さん自身が築き上げてきたものだと思う。

氏の芝居はなにか劇的な事がおこるというものではない。本当に石ころのように転がっている日常生活を扱う。しかし、その中で生きる人たちはそれぞ

れ何かやり場のない感情を持っていて、その感情が、つまらないありきたりの生活の中にちらちらと見え隠れする。淡々と始まりそして終わる。しかし、見終わった人々の心に確実に何か残る、そんなお芝居だ。例えば自分のなかにあるちょっとした「殺意」みたいなものに気づいたり……。表現がより厳しくなる中、このような演劇をして成功しているのは本当に珍しいことで、竹中さんの志の高さがよくうかがえる。また、「より良い芝居を」という謙虚な姿勢を見るからに(!)真面目そうな竹中さんは崩さない。こんな有名になったのに……と思って、そう言うとスルリとかわされてしまった。いろいろなジャンル(CD制作なども)に次々と関わって行けるバランス感覚も自身が楽しみながら、そして謙虚に仕事出来るコツなのかもしれない。

竹中さんは「現代の情勢がどうの……」なんて言わないけれど、「今」の空気を感じるのが上手い。竹中さんは「今」を一生懸命生きているからこそ、それが今を生きる私達に何かを投げかけてくれるのではないか。

新入生の 皆さんへ



勝呂 忠 多摩美術大学校友会会長

昭和25年多摩造形芸術専門学校油画科卒業
京都産業大学名誉教授
明治美術学会会員

美術の世界へ第一歩をふみだした新入生の皆さん、誠におめでとうございます。皆さんが多摩美術大学で学ぶ4年間は、確かな自己を確立する貴重な時間なのです。それぞれの分野において、最高の技術や感性を身につけ、また多くの友人を得てください。

皆さんが卒業して社会へ巣立つ年は2001年、つまり21世紀なのです。輝かしい未来に向けてさらに新しい世界を築くべく努力して下さい。校友会は約2万人の卒業生に支えられた組織です。皆さんもどうか一緒になって母校となる多摩美術大学と校友会を21世紀へ誇らかに継いで行きましょう。

自由と意力の学風と 学縁のもとに



藤谷宣人 多摩美術大学理事長

新入生の皆さんの、多摩美術大学の一人としての参加を心から歓迎し、この多摩美術大学の新しい歴史の作り手として期待いたします。多摩美術大学は私学であり、私学でなければできない独自の建学の理念と学風を持っています。「自由と意力」この理念、学風のもとに相集い、ともに学び合い、楽しみも喜びも分かち合いともにするのが多摩美術大学であり、私学たるゆえんであります。この多摩美術大学に学んだ人と人との宿縁が校友会であり、校友会こそ大学と卒業生を結びつける学縁でもあります。この学縁を大切にし、有意義に学びながら交流して下さい。校友会の輪が広がることによって多摩美術大学はさらに発展するのです。皆さんの校友会への積極的な参加を心から希望いたします。

校友会への 参加を願う



後藤狷士 多摩美術大学学長

本学校友会は、発足以来、卒業生の方々の多数のご参加と熱心なご協力のもとに、全国にわたって着実な活動をあげつつあり、しかもこの間、新しい企画がいくつかたてられ実施される趣きで、まことに心強いことである。大学もまた、今まさに来るべき世紀に向けての先導的役目を果たすべき斬新な構想を掲げて前進しようとしている。この際、校友会のご鞭撻とご支援が、大学にとってどれほど有り難いものであるかは言うまでもない。この絶好の機会に校友会になお今以上の新鮮にして若々しいエネルギーが導入される必要はますます高まったと思われる。21世紀に対応する芸術の創造活動を促進し美術教育を向上充実させる目標に志を一つにする卒業生の方々が積極的に校友会に参加され、大学の教育活動に不断の激励をたまわれれば、これにすぐる幸いはない。

理事・役員紹介・地方支部長

●理事

北陽平	(S18図案)
堀友三郎	(S20図案)
齊藤 惇	(S23日本画)
長江録弥	(S23彫刻)
勝呂 忠	(S25油画)
真鍋 博	(S29油画)
吉城 弘	(S30油画)
東海林隆	(S32平面)
竹内成志	(S32平面)
わたなべひろこ	(S32染織)
金岡岩雄	(S33油画)
稲垣行一郎	(S34平面)
神田昭夫	(S34平面)
市川保道	(S35日本画)
山崎美喜男	(S35写真)
大倉友光	(S36写真)
翁 観二	(S36彫刻)
岡崎 紀	(S36油画)
太田幸夫	(S37平面)
岩倉信弥	(S39立体)
関根伸夫	(S41油画)
竹田光幸	(S41彫刻)
五十嵐威暢	(S43グラフィック)
渡辺達正	(S45油画)
海老塚耕一	(S51建築)
田代孝一郎	(S51建築)

●事務局

中野嘉之	(S43日本画)
弥永保子	(S46染織)
田中康夫	(S46油画)

●顧問

内藤頼博	(名誉理事)
末松正樹	(名誉教授)

●支部長

[北海道支部長] 栗谷川悠一 (平面)
〒064 札幌市中央区北5条西17 ライオンズマンション北5条501 TEL.011-643-8631
[長野支部長] 浅野盛男 (S39立体)
〒380 長野市川合新田2110-23 TEL.0262-21-1761
[新潟支部長] 島山恒夫 (S32油画)
〒950-21 新潟市寺尾上1-1-5 TEL.025-269-3342
[福岡支部長] 藤丸國彦 (S32油画)
〒830 久留米市東柳原町1347-2 TEL.0942-35-6488
[佐賀支部長] 青木久重 (S26日本画)
〒844 西松浦郡有田町外尾山 TEL.0955-42-3272
[愛知支部長] 内藤圭介 (S34油画)
〒444-13 高浜市八幡町4-2-36 TEL.0566-53-0016
[広島事務局] 中村孝義 (S47グラフィック)
〒730 広島市中区十日市町2丁目2-29荒谷ビル302 アド・ルーム中村内 TEL.082-291-0426
[静岡支部長] 鈴木健司 (S33油画)
〒420 静岡市追手町7-14 TEL.054-252-6095
(設立準備中)
[京都] 澤田欣也 (S39立体)
〒600 京都市下京区猿蓑通木津屋橋上ル構屋町378-1 TEL.075-361-3746
[兵庫] 真鍋元保 (S41立体)
〒655 神戸市垂水区神和台1-6-3 TEL.078-791-7193
[大阪] 名取久子 (S40平面)
〒565 豊中市上新田1-24-B1206 TEL.06-831-1880
[奈良] 長谷川透 (Hi日本画)
〒631 奈良市秋篠台町45-12 TEL.0742-44-4613
[滋賀] 吉村順三 (S44グラフィック)
〒520 大津市馬場3-14-40-319 TEL.0775-25-5150
[和歌山] 中東照茂 (S49油画)
〒640 和歌山市木之本1496-1-101 TEL.0734-55-2806
[神奈川] 長瀬進 (S35油画)
〒257 秦野市南矢名660-3 TEL.0463-77-1802

活動内容

1. 総会の開催

年に1回(春期)、総会を開催します。卒業生であれば誰でも同じ土俵で自由に話し合える、そんな柔らかく楽しい、そして公平な会議です。

2. 懇親会の開催

総会終了後にお食事を召し上がりながらご歓談いただきます。校友会ならではの…と思わせてくれる会員に出会い、新たな発見があるかも知れません。

3. 講演会開催

総会開催日にあわせ講演会を開催しています。多種多様な分野からの講演者を迎えて今後さらに充実させていきます。

4. 会報誌「alT」(アルティー)の発行

年に1回、正会員にお送りします。運営内容を明解にお知らせし、みなさまのご意見を反映できる紙面を目指しています。

5. 名簿の発行

第1回目は平成10年に発行を予定しています。会員と会員を結ぶ大切な役割を果たすと考え、慎重に作成します。

6. 奨学金制度

やる気ある在校生の制作・研究活動は卒業生も楽しみにしています。有意義な大学生活になるよう校友会がバックアップします。

7. 技法書出版

在校生、卒業生にご協力いただき、一般の方にも幅広く技法を習得していただけるよう分かりやすい技法書を編集しています。

8. 企画展開催

卒業生による卒業生のための企画展の開催を予定しています。たくさんの方の卒業生の作品を集め、今後の大切な資料にいたします。